

フェンスの右は、
西武園ゴルフ場











埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター



埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里・センターエリアマップ



狭山丘陵の自然を分かりやすく展示解説しています。また、ガイドウォークなど様々なイベントを開催しています。

荒幡富士



あづまや



トイレ



机付き
ベンチ



身体障害者用
トイレ

①~⑧
森の
解説場



初夏、木漏れ日にヤマツツジが映えます。

西広場

②

北広場

④

P

現在地

①

③

⑤

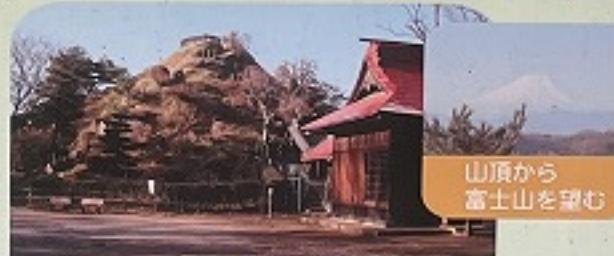
⑥

⑦

⑧

東広場

浅間神社



荒幡富士は関東最大級の富士塚として狭山丘陵を眺望できます。



ベンチやあづまやがあり、陽だまりでのんびり出来ます。

センターエリアには、いきものふれあいの里の中核をなし、自然学習の機能を持つセンターがあります。

また、ゆっくりと散策路を歩けば、四季折々のいきもの達が私たちを楽しませてくれます。

フィールドマナー



動植物を

大切に



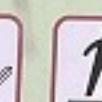
犬は

はなさいで



タバコ・

火気厳禁



園路以外に

立ち入りないで



ゴミは持ち

帰りましょう



みどりの空間を誰もが安心して楽しめるようにご協力下さい。
埼玉県狭山丘陵いきものふれあいの里センター

TEL:04-2939-9412

駐車場について

一般駐車場は、ココから車で5分程度の北側入口にございます。

道が分かり難いため、ナビでの検索をおすすめいたします。

所沢市荒幡 836-7 付近



CE-2
この標識が付いている
埼玉県狭山丘陵
いきものふれあいの里
TEAN JEFICE

埼玉県秩父山丘陵
いきものふれあいの里センター



i 所沢市観光案





大町桂月の撰文の碑
次ページに内容を
表示しています。



荒幡新富士築山碑 撰文と和歌

大町桂月狭山紀行文



約※寄村淺碑
四現せ民間文
十代ら百神裏
万にれ二社側
円寄ま十本
と付し名殿
高金た。に新
額五
に十五
なるよ
うを換
で算す
。ると、
五十五円は

右碑の文
撰は
百年が
と和歌
過ぎ風
彫化が
こまれて
読みに
ます。
くなつて
います。

狹山 (さやま) 丘陵の上に浅間神社あり。
村社にして木花咲耶姫命 (このはなさくやひめのみこと) 大山祇
命 (おおやまつみのみこと) 少彦名命 (すくなひこのみこと) を祀 (ま
つ) る地は荒幡 (あらはた) に属す。
荒幡、今は吾妻村の大字なるが元来 (がんらい) 村として独立
し、村内に小字 (こあざ) 多く、小字毎 (ごと) に鎮守ありて民
心統一せず。
有志者之 (これ) を憂 (うれ) い明治 14 年、三島、冰川、神
明、松尾の4祠 (ほこら) を浅間神社に合祀 (ごうひ) して松尾
神社の地に移せり。
浅間神社の境内 (けいだい) に在りし富士山をも移し、更に幾
10 倍も大 (だい) にして、高さ 60 尺に達せり。
荒幡の新富士山と称す。明治 17 年起工し同 32 年竣工
せり。
氏子 (うじこ) は言うまでもなく付近村落の信徒も加わりて
工事に従う者、前後一万人に及べり。
斯 (か) くて村民、相統一するのみならず、一種の偉觀を
呈せり。
嗚呼 (ああ) 神徳大 (だい) なる哉。
富士の日本か、日本の富士か、我国民性は富士の靈山と
相呼応すること久し。
東京付近には人造の富士少からざるが、此 (この) 富士、最
も傑出す。
余、幾度となく來り登りて、真の富士を仰ぎ、関東平野
に俯 (ふ) し雄大なる眺望に感激すると共に、之を築きた
る村民の誠意に共鳴 (きょうめい) せずんばあらず。
当年の愚公 (ぐこう) をして見せしめば如何 (いか) にか驚嘆す
らん。

八州の 我に朝する 青葉かな

大正 10 年 3 月

大町桂月 撰 芳賀剛太郎 書

つづら折りの
登山道の角毎
に号目の石柱
がある。





古
今
日

展望図



2009.2 YY

荒幡富士保存会



実観
2008

平成23年度
とことこ
景観賞

静岡市(浅間神社)



天気が良ければ、富士山が望める。



天気が良ければ、池袋の高層ビルも
望める。(次頁参照)

豊島清掃工場の煙突
サンシャイン60
スカイツリー

浅間神社

奉



宗教法人 淺間神社

祭神・木花咲耶姫命

合祀・明治十四年九月十九日

村社・淺間神社(浅間久保)

祭神・木華開耶姫命

大山咋命・狹依姫尊

無格社・三嶋神社(東本村)

祭神・事代主命

無格社・氷川神社(西内手)

祭神・素盞鳴命

無格社・神明神社(田端)

祭神・大日靈貴尊

無格社・松尾神社(西久保)

祭神・少名命

平成元年十月吉
建之